

平成28年度 鳥取県立博物館非常勤職員(古文書整理専門員) 採用試験募集案内

鳥取県立博物館の人文分野収蔵資料のうち、古文書の整理、目録作成等を行う非常勤職員を下記のとおり募集します。

1 募集内容

職 種	非常勤職員（古文書整理専門員） ※地方公務員法第3条第3項第3号に定める特別職非常勤職員であり、休日などの勤務時間以外のときは他の仕事に就くことができます。
勤務場所	鳥取県立博物館（鳥取県鳥取市東町二丁目124番地）
採用予定者数	1名 ※試験の結果によっては合格者がいない場合があります。
職務内容	(1) 近世、近代の古文書・和書・漢籍など約1万点の館内データベースへの登録、目録作成及び報告書刊行等に関する業務 (2) その他人文担当の資料管理、展示、普及事業等に関する補助業務
任用期間	平成28年10月1日(予定)～平成29年3月31日 ※翌年度も上記職務を今回と同様の受験資格で任用する職員に処理させることとなった場合には、本人の意向、勤務成績その他の事情を踏まえ、翌年度に再度任用されることがあります。 なお、本任用は、平成27年度～平成29年度の3年間事業に基づくものです。

2 受験資格

- (1) 大学又は大学院で歴史学（日本近世・近代史）、又は文化財に関する分野を専攻し卒業（修了）した人に限ります。（年齢、性別は問いません。）
- (2) 地方公務員法第16条に該当しない人（次のいずれにも該当しない人）
 - ・成年被後見人、被保佐人（準禁治産者を含む。）
 - ・禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの人
 - ・鳥取県職員として懲戒免職処分を受け、その処分の日から2年を経過しない人
 - ・日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した人
- (3) 日本国籍を有する人、又は日本国籍は有しないが、活動に制限のない在留の資格を取得している人若しくは採用日の前日までに当該資格を取得する見込みの人（活動に制限のない在留の資格：永住者、日本人の配偶者等、永住者の配偶者等、定住者）

3 受付期間・面接試験日・試験会場・合格者発表等

受付期間	平成28年8月12日（金） ～平成28年8月30日（火）（必着） ◎郵送の場合は、平成28年8月30日（火）17：15までに到達したもの（期限までに申込先に到着したことが明確に確認できるもの）に限り受け付けます。 ◎持参による申込みの受付時間 8：30～17：15
第1次試験	論文審査 ・「採用試験申込書」と、同時に提出された「小論文」（6 受験申込手続の「提出書類等」に記載）を審査します。 ・申込書の内容と小論文を審査し、得点の高い順に数名を合格とします。
第1次試験合格発表日	平成28年9月6日（火）（予定） ・受験者全員に可否を郵送で通知します。電話での問い合わせにはお答えできません。
第2次試験（面接試験）	平成28年9月14日（水） 〔試験会場〕鳥取県立博物館（2階会議室） ※面接時間等の詳細は、第1次試験合格者に別途連絡します。 ※試験会場への車での乗り入れはご遠慮ください。公共交通機関又は県庁駐車場を御利用ください。
最終合格通知発送日	平成28年9月20日（火）（予定） 第2次試験受験者全員に可否を郵送で通知します。電話での問い合わせにはお答えできません。
合格者の決定	第2次試験の得点の高い順に合格者を決定します。 ただし、その得点が一定の基準に至らない場合は不合格とします。 なお、合格者が採用を辞退した場合は、当該得点が次点の者を合格者とします。 ※採用試験申込書等の記載事項に虚偽があると、この試験に合格されても採用されない場合があります。

4 試験内容

試験種目		配点	内 容
第1次試験	論文審査	200点	小論文の表現力及び課題に対する理解力並びに記載された知識・経験等の募集職務内容への適格性について、書類審査を行います。
第2次試験	面接試験	300点	個別面接により、業務への適格性等について審査を行います。（15分程度）

5 勤務条件

給 与	○報酬 日額 10,320円 ※上記金額は、現段階における予定額です。採用時までに制度改正又は給与改定があった場合は、それによります。（以下の項も同じ） ※（参考）月17日勤務していただいた場合、$10,320円/日 \times 17日 = 175,440円$の月給が支給されます。 ○通勤割増報酬（通勤手当） ・通勤距離片道2キロ以上の場合に支給します。 交通機関利用者は、定期券と回数券のうち、安価な方の額で通勤回数に応じて
-----	---

	1月あたり55,000円を限度額とします。 自家用車等使用者は使用距離及び通勤回数に応じて、月1,780円から37,561円までの範囲内で支給します。
福 利	健康保険、厚生年金保険、雇用保険 ※加入条件を満たす場合に限りです。
休 暇	次に掲げる休暇を取得できます。 (1)年次有給休暇 任用期間に応じた年次有給休暇（最大1年間に10日）が付与されます。 (2)特別休暇等 公民権の行使、忌引、産前・産後（各8週）などの特別休暇等があります。 ※任用期間等に応じ、有給又は無給休暇となります。
勤務日及び 勤務時間	1ヶ月17日（土・日・祝日勤務があります。） 午前8時30分～午後5時15分まで ※現段階における勤務時間です。変更になる場合があります。

6 受験申込手続

提出書類等	(1) 鳥取県立博物館非常勤職員（古文書整理専門員）採用試験申込書 1部 上記申込書裏面の「申込書記載要領」をよく読んで、必要事項を記入の上、提出してください。（別紙様式） (2) 小論文 1部 課題：自身の研究業績・業務経歴でアピールしたいこと、又は現在最も関心のある研究テーマについて1,200字以内で簡潔に記述してください。 ＜作成要領＞ 1. ワードプロソフトで、A4判縦長用紙に横書きで作成すること。 2. 一行40字、1頁35行、文字の大きさは12ポイント程度とすること。 3. 用紙の上部に、上記の課題に関する記述内容を端的に表す題名（創作すること。）及び氏名を明記すること。 (3) 連絡用封筒1通 第1次試験の結果をお知らせするために必要ですので82円切手を貼り、郵便番号、送付先住所、宛名を明記した封筒〔長形3号（12.0cm×23.5cm）〕を提出してください。 ※提出された書類はお返しできませんので御了承ください。
申込み・ 問合せ先	鳥取県立博物館総務課 〒680-0011 鳥取県鳥取市東町二丁目124番地 電話(0857)26-8042 〔御持参の場合〕 提出書類を上記の鳥取県立博物館総務課へ御持参のうえ、職員に申込の旨をお伝えください。 〔郵便又は信書便の場合〕 提出書類を封入した封筒の表に「鳥取県立博物館非常勤職員（古文書整理専門員）募集関係」と朱書きし、上記申込先に送付してください。 ※郵送の場合は「簡易書留」にするなど特定記録の方法によってください。（郵便局又は信書便事業者で交付される受領証等は、第1次試験の結果が届くまで保管してください。）

7 試験結果の開示

(1) 口頭による開示

この採用試験の結果については、鳥取県個人情報保護条例第19条第1項の規定に基づき、口頭による開示を請求することができます。

運転免許証、学生証等写真など請求者が受験者本人であると確認できるものを持参して、直接「開示場所」へお出でください。電話、はがき等による開示はできませんので注意してください。

受験者本人が、病気等やむを得ない事情により来館できない場合は、鳥取県立博物館までご相談ください。

(2) 送付による開示

希望者には郵送により通知します。通知を希望される方は「開示期間」内に、82円切手を貼った宛先明記の通知用封筒（長形3号（12.0cm × 23.5cm））と試験の結果通知の写しを封入した封書を上記「申込先」に送付してください。

開示請求ができる者	開示の内容	開示期間	開示場所
受験者本人	試験の得点及び順位	試験結果発表日から1ヵ月	鳥取県立博物館

8 個人情報の取扱い

本試験に関して収集した個人情報については、本試験の選考、合格決定通知書の発送及び採用手続き以外には利用しません。

【試験会場案内図】

※試験会場への車での乗り入れはご遠慮ください。公共交通機関又は県庁駐車場をご利用ください。



※受付番号

(様式)

鳥取県立博物館非常勤職員（古文書整理専門員）採用試験申込書

私は、標記非常勤職員採用試験に申し込みます。

なお、私は募集案内に掲げてある受験資格をすべて満たしており、この申込書の記載事項は事実に相違ありません。

平成28年 月 日

(ふりがな)

氏名(自筆)

(写真欄)

申込3か月以内に無帽で正面から上半身を写した縦4.5cm、横3.5cmの写真を貼り付けてください。

生年月日

昭和・平成 年 月 日

(満 歳)

(ふりがな)

現住所 〒 —

[電話(自宅・呼び出し) () —]
[携帯電話 () —]

(ふりがな)

緊急連絡先 〒 —
(家族などと連絡が取れる住所)

[電話(自宅・呼び出し) () —]

年

月

日

学歴(卒、卒見、在学等)

年

月

日

職歴(常勤・非常勤・臨時的任用職員等の別及び期間を明記)

年	月	日	職務内容に直接関係する業績・経歴
			(研究業績・業務経歴等) ※本募集案内の「2 受験資格」の(1)の歴史学(日本近世・近代史)又は文化財に関する分野に関連する研究業績や業務経歴が分かるもの(様式不問。なお、企業秘密に該当する情報は除く。)を別紙にて添付すること。
			(社会における活動等)
年	月	日	免許・資格
現在の健康状態 及び既往症			

【申込書記載要領】

- 1 申込書は、募集要領及び下記事項をよく読み、間違いのないよう正確に記入してください。
 - 2 黒又は青のボールペン・万年筆を用い、※欄を除くすべての欄にもれなく記入してください。
 - 3 訂正がある場合は、もとの文字又は数字に横線を引き、その上に書き直してください。
 - 4 枠の中に書ききれない場合は、余白に、又は「別紙」として別様の紙に記入して提出してください。
 - 5 不備があった場合は受理できません。また、記載事項に不正があった場合は、採用される資格を失うことがあります。
- (注)過去に、鳥取県において臨時的任用職員に任用されたことがあり、本任用期間の初日において、当該任用満了後2か月以上を経過しないかたは任用できません。(該当されるかたが応募した場合は、当該応募については無効として取り扱います。)

主な項目の記載要領

※受付番号	記入しないでください。
現住所・電話	現住所は、棟、号室までできるだけ詳しく、正確に記入してください。 なお、転居予定がある場合は、その旨を余白に記入し、連絡先の宛先を明示してください。 電話で連絡する場合がありますので、携帯電話をお持ちの方は、その番号も記入してください。
学 歴	原則、高校卒業から記入してください。
職務内容に直接 関係する業績・ 経歴	選考に関連するものを記入してください。 「業績等」(別紙にて記載)には、前欄の職歴と重複する記載があっても結構です。 「社会活動における活動等」には、NPOやボランティア活動も含めます。
免許・資格	申込日現在で取得している免許・資格等を御記入ください。

平成29年度青森県埋蔵文化財発掘調査専門職員採用候補者選考試験実施要項

1 職務の内容

埋蔵文化財包蔵地の発掘調査や記録保存、その他埋蔵文化財の保存、活用業務を含む埋蔵文化財保護行政全般に係る業務に従事する。

2 採用年月日

平成29年4月1日

3 受験資格

(1) 昭和51年4月2日以降に生まれた者で、次のいずれかに該当する者

① 学校教育法に定める大学（短期大学を除く。以下同じ。）又は大学院で考古学の専門教育を受け卒業（修了）した者（平成29年3月31日までに卒業（修了）見込の者を含む。以下同じ。）

② 学校教育法に定める大学又は大学院で歴史学の専門教育を受け卒業（修了）し、かつ、発掘調査の経験がある者

③ 上記以外の者で、これと同等の専門知識を有し、発掘調査の経験があり、かつ、発掘調査報告書等の執筆実績がある者

(2) 次のいずれかに該当する者は受験できません。

① 日本国籍を有しない者

② 地方公務員法第16条に規定する欠格条項のうち以下に該当する者

ア 成年被後見人又は被保佐人（準禁治産者を含む。）

イ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者

ウ 青森県の職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者

エ 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

4 採用予定人員

若干名

5 選考試験実施内容等

(1) 第1次試験

① 試験期日 平成28年10月16日（日）

② 試験会場 青森県警察本部庁舎（青森市新町二丁目3番1号）

③ 試験の内容

考古学、歴史学、保存科学、博物館学等、文化財保護全般に関する筆記試験及び実技（遺物実測図作成）試験

④ 留意事項

試験時間、実技のため持参すべき器具等については、受験者あて別途通知します。

⑤ 結果の通知

第1次試験の結果については、平成28年11月上旬までに本人に通知します。

⑥ 試験成績のお知らせ

第1次試験の成績については、筆記試験の得点、筆記試験及び実技試験のそれぞれのランク並びに総合ランクを試験結果通知に記載してお知らせします。

(2) 第2次試験

- ① 試験期日 平成28年11月20日(日)
- ② 試験会場 青森県警察本部庁舎(青森市新町二丁目3番1号)
- ③ 試験の内容 論文、適性検査、面接試験(専門知識に関する口頭論述を含む。)
- ④ 結果の通知

第2次試験の結果については、平成28年12月上旬までに本人に通知します。

⑤ 試験成績のお知らせ

第2次試験の成績については、論文及び面接試験のそれぞれのランク並びに総合ランクを試験結果通知に記載してお知らせします。

6 出願に必要な書類

- (1) 願書(別紙様式による。)
- (2) 履歴書(別紙様式による。)
- (3) 最終卒業(修了)学校の卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書
- (4) 受験資格に相当する学校(又は最終卒業学校)の成績証明書(開封無効)
- (5) 発掘調査・報告書執筆等経歴書(別紙様式による。)
- (6) 第1次試験案内及び試験結果通知用として封筒2部(長形3号・定型郵便用)にそれぞれ82円切手を貼り、郵便番号・住所、氏名を記載すること。

※出願に必要な書類は、青森県教育委員会のホームページからダウンロードできます。

http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/H29_maizou_boshu.html

7 出願期限及び出願先等

(1) 受付期間

平成28年9月26日(月)まで(郵送の場合は、9月26日(月)までの消印のあるものに限り受け付けます。封筒の表に「埋文応募」と朱書してください。)

(2) 出願先・問い合わせ先

〒030-8540 青森市新町二丁目3番1号

青森県教育庁職員福利課 人事法規グループ

電話 017-734-9915

8 給与等

初任給は、176,700円程度(平成28年4月採用の大学新卒者の場合)であり、6月及び12月に期末・勤勉手当が支給されるほか、支給条件に応じて扶養手当、通勤手当、住居手当等が支給されます。

平成29年度青森県埋蔵文化財発掘調査専門
職員採用候補者選考試験 受験願書

写真欄
(縦4cm・横3cm)

・写真は6か月以内に
撮影したもので、正面
からの顔写真としま
す。
・写真の裏面に必ず氏
名を記入してください。

ふりがな 氏 名			
生年月日	昭和・平成 年 月 日生 (平成29年4月1日現在 満 歳)	本籍	都 道 府 県
現住所	(〒)アパート等の室番号まで記入してください。 Tel () -		
連絡先	(〒)現住所以外の連絡先(実家等)があれば記入してください。 Tel () -		
最終学歴	大学 学部 科 大学院 専攻 昭和・平成 年 月 日 卒業(見込)・修了(見込)		
教員免許	主たるものを記入してください。 年 月 日取得(見込)		
資格	学芸員資格 有 ・ 無 年 月 日取得(見込)		
現在の職業	勤務先名称	所在地	
	職務内容	身分	在職期間

私は、平成29年度青森県埋蔵文化財発掘調査専門職員採用候補者選考試験を受験したいので、出願します。

願書及び添付書類の記載事項に相違ありません。

また、私は日本国籍を有しており、地方公務員法第16条各号のいずれにも該当していません。

平成28年 月 日
青森県教育委員会教育長 殿

氏名

(必ず自署すること。)

履歷書

ふりがな 氏 名			
旧 氏 名			
生年月日	昭和・平成 年 月 日（平成29年4月1日現在満		歳）
ふりがな 現住所	(〒 -)	電話() -	(方呼出)

○ 學歷・職歴・賞罰

[illegible]

(履歴書 No.2)

○ 免許・資格

年	月	日	免 許 ・ 資 格

志望の動機

得意な科目

不得意な科目

学校で加入した部活動、サークル、グループ等

趣味・特技

健康状態

本人特記事項(上記以外の特記すべき事項等がありましたら記入してください。)

発掘調査・報告書執筆等経歴書

1 卒業論文、修士論文(論文名、論文内容)

--

2 埋蔵文化財発掘調査歴(記入しきれない場合は別に作成しても可)

調査参加年月	(期間)	遺 跡 名	調査担当業務内容	調査報告書執筆実績がある場合はその内容

3 論文発表、研究発表歴(卒業論文、修士論文を除く。)

発表時期	論文(研究)内容	発表方法(論文掲載紙、発表機関)

特研総第2-19号
平成28年7月21日

国 公 私 立 大 学 長
都道府県・政令指定都市教育委員会委員長 殿
関 係 機 関 長

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

理事長 矢戸 和成
(公 印 省 略)

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所研究職員の公募について（依頼）

本研究所は、我が国唯一の特別支援教育のナショナルセンターとして、インクルーシブ教育システム構築に向けて、特別支援教育に関する教育課題に対応した実践的研究及び特別支援教育担当教員等の指導者研修等を行っている文部科学省が所管する研究機関です。

このたび、下記の要領で研究職員を公募いたしますので、貴管下の関係者に御周知くださるようお願いいたします。

記

- 1 採用予定職種 総括研究員（研究職4級）、主任研究員（研究職3級）、研究員（研究職2級）のいずれか
- 2 任 期 任期なし。ただし、上記職種のうち研究員については、経歴等を勘案し、任期付（平成29年4月1日から平成32年3月31日まで）となることもある。
- 3 募 集 人 員 若干名
- 4 担 当 職 務 主として、下記の職務に従事する。
 - （1）主として肢体不自由分野、病弱・虚弱分野又は言語障害分野における特別支援教育に関する研究
 - （2）本研究所が実施する研修等における講義・実習等及び本研究所が実施する諸事業の担当
 - （3）所属部署における業務
- 5 応 募 資 格
 - （1）修士以上の学位、若しくはそれと同等以上の研究業績を有する者
 - （2）肢体不自由分野、病弱・虚弱分野又は言語障害分野における特別支援教育に関する研究業績のある者
 - （3）肢体不自由、病弱・虚弱又は言語障害のある子どもの教育経験（教育行政を含む）があることが望ましい
- 6 採用予定日 平成29年4月1日
- 7 応 募 期 限 平成28年9月16日（金）（必着）

- 8 提出書類 (1) 履歴書(写真貼付、なお試験・検定等により語学力を証明できるものがあれば、その内容を付記してください。例: TOEIC 650点)
- (2) 研究業績目録(著書、論文、学会発表等に区分し、書名、題名、発表誌名、発行所、発表学会名、発行・発表年月日、著者名・共同発表者名等を明記したもの)
- (3) 主要研究業績(著書又は論文の現物(又はコピー) 5点以内)
- (4) 特に取り組んできた教育活動(教育相談及び研修会講師等の実績を含む)、臨床活動あるいは審議会、調査会、協力者会議、教育団体、学会、協会等の活動業績の記録
- (5) 小論文「あなたは、インクルーシブ教育システム構築に向けて、肢体不自由分野、病弱・虚弱分野又は言語障害分野における研究、講義・実習等にどのように取り組むつもりですか。本研究所の使命・役割にも触れながら具体的に記述ください。」(A4版で2,000字以内)
- ※ 下記については、選考の過程で提出を求める場合があるので、その際には別途本人に対し連絡します。
- ①健康診断書(公的機関発行のもの)
- ②大学及び大学院の卒業(修了)証明書

- 9 選考方法 第一次選考: 書類選考
- 第二次選考: 面接選考(第一次選考合格者に対して実施する)
- 【平成28年10月中旬頃実施予定】

- 10 書類提出先 〒239-8585
- 神奈川県横須賀市野比5-1-1
- 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 総務部総務企画課人事係 宛
- ※ 提出書類は、封筒の表に「研究職員 応募書類在中」と朱書きで明記し、簡易書留または書留小包で郵送すること。

- 11 問い合わせ先 総務部総務企画課人事係 電話 046(839)6925(直)
- Eメール jinji@nise.go.jp

- 12 その他 (1) 面接選考における旅費等は応募者の負担となります。(面接日は後日連絡)
- (2) 応募書類は返却しません。また、応募書類により取得する個人情報、採用者の選考及び採用後の人事等の手続きを行う目的で利用するものであり、この目的以外で利用又は他に提供することはありません。
- (3) 採用された場合、国の機関(国家公務員)、地方公務員、国立大学法人及び独立行政法人等の職員から引き続き本研究所に在職することとなっても、本研究所での退職手当の算出に係る在職期間は、それらにおける在職期間を通算しないこととなりますので、あらかじめ御了解下さい。
- (4) 本研究所に関する情報はホームページを参照して下さい。
- ホームページアドレス <http://www.nise.go.jp>
- (5) 本研究所の研究職員の定年は、満63歳です。

宮教大総第144号

平成28年 8月 3日

各関係大学長

各関係大学学部長 殿

各関係機関の長

国立大学法人宮城教育大学長

見 上 一 幸

(公印省略)

教員の公募について (依頼)

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび本学では、下記要領により社会科教育講座の教員を公募することになりました。

つきましては、貴職関係者への周知並びに適任者の推薦について、よろしくお願い申し上げます。

記

1. 講座名 教育学部 社会科教育講座

2. 職名及び人員 准教授又は講師 1名

3. 専攻分野 人文地理学

4. 担当科目等

(1) 担当科目

学部 人文地理学概論、人文地理学講義、地誌学、小学校教科専門科目「社会」・

「生活」、地理学演習、教職実践演習等並びに卒業研究指導

大学院修士課程 人文地理学特論、人文地理学特別演習、地誌学特別演習

教職大学院 地理学特講

(2) その他 附属学校園との共同研究及び地域との連携活動等

5. 応募期限 平成28年10月3日(月) 必着

6. 採用予定日 平成29年4月1日(土)

7. 応募条件 (1) 博士の学位を有する者、又はそれと同等以上の業績を有する者

(2) 着任後、仙台市もしくはその近郊に居住できる者

(3) 教育大学における学生教育に理解と熱意のある者

8. 応募書類 (1) 自筆の履歴書(市販の用紙でも可。高等学校卒業時から記載し、
6ヶ月以内に撮影した写真を貼付のこと)

(2) 研究業績リスト(発表年次の古いものから順に。査読の有無も記す
こと。教育・職務上の実績があれば、それも記載のこと)

- (3) 主要な著書・論文を合わせて5点(抜刷、コピー可)、それぞれ400字以内の要約を添付
- (4) これまでの研究概要と今後の研究計画(1200字程度)
- (5) 着任後における教員養成教育に対する抱負(これまでの研究成果と関連させて1200字程度)
- (6) その他の提出物
上記(2)の研究業績リストを収めたCD-ROM又はUSBメモリ(リストはWord又はExcelソフトにて作成のこと)

9. その他
- (1) 選考に際しては、必要に応じて別途資料の提出を求めることがある他、面接(旅費は応募者の負担)を行うことがあります。
 - (2) 応募書類は原則として返却致しません。著書等について特に返却を希望する応募者は、必要な切手を貼付した返信用封筒を同封のこと。
 - (3) 本学の概要はホームページをご参照ください。
 - (4) 宮城教育大学は「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、男女共同参画を推進しています。

10. 応募書類送付先

〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉149番地

国立大学法人宮城教育大学 総務課人事係(電話 022-214-3307)

(封筒に「地理学教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付のこと)

11. 問い合わせ先

国立大学法人宮城教育大学 教育学部社会科教育講座 教授 西城 潔

E-mail : saijo@staff.miyakyo-u.ac.jp (問い合わせはE-mailをお願いします)